

昭和六十一年三月十五日発行

会報

第十八号

社団法人・岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会

会 報 第十八号 目 次

題字「会報」は石川理事長筆

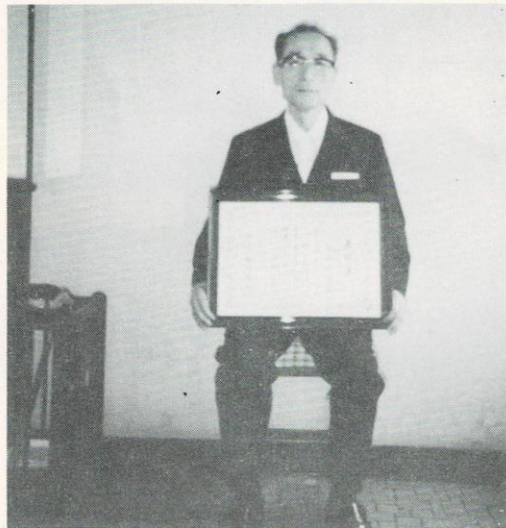
| | | | |
|---------------------------------|-------|---------------|----|
| あいさつ | …………… | 理事長 石川 文治 …… | 1 |
| 会員調査表 S60.12.31現在 | …………… | | 2 |
| 岩手県鍼灸師会昭和60年度日誌 | …………… | 総務部 …… | 3 |
| 岩手県鍼灸師会昭和60年度定期総会議事録 | …………… | | 4 |
| 役員名簿 | …………… | | 7 |
| 表彰受賞について | …………… | 理事長 石川 文治 …… | 8 |
| 全鍼師会昭和60年度定期総会報告 | …………… | 副理事長 越本 政男 …… | 9 |
| 昭和60年度第39回東鍼連総会岩手大会報告 | …………… | 副理事長 越本 政男 …… | 13 |
| 日東医学会第11回学術大会（兵庫大会）に参加して | …………… | 副理事長 越本 政男 …… | 16 |
| 学術講習会 | …………… | | 18 |
| 東北六県師会長会議 | …………… | 理事長 石川 文治 …… | 19 |
| 全国師会長会議並びに顧問議員団会結成 | …………… | 理事長 石川 文治 …… | 20 |
| 参議院議員 岩動道行先生本会の顧問に | …………… | | 21 |
| 岩保会 | …………… | | 21 |
| 岩手県鍼灸師会 | …………… | | 22 |
| 保険は効いて居た | …………… | 理事長 石川 文治 …… | 22 |
| 日本鍼灸マッサージ新聞より論評二題 | …………… | | 23 |
| 三療による老人福祉治療に関する実態調査の集計について | …………… | | 26 |
| 師会だより 盛岡・花巻・北上和賀・胆江・一関・釜石・宮古・久慈 | …………… | | 29 |
| MEMO | …………… | | 36 |
| 編集後記 | …………… | | 37 |

861年3月発行の会報から

石川理事長厚生大臣賞・受賞
5月13日、東京文京区・椿山荘に於て
(社)日本鍼灸師会創立35周年式典会場で



石川理事長



表彰状



祝賀会

昭和60年度（第39回）東鍼連総会岩手大会開催

7月6日、7日 盛岡市つなぎ温泉・愛真館に於て



祝詞、岩手県環境部高橋医薬課長



議長団 左から高橋（宮城）
越本（岩手）



左は、挨拶する東鍼連川村会長
右は司会の下佐副理事長



会場の愛真館

懇
親
会



左より司会の鞠子氏、
中村実行委員長

挨拶する関野全
鍼灸師会会長



栗石姉ッコによる
民謡ショウ



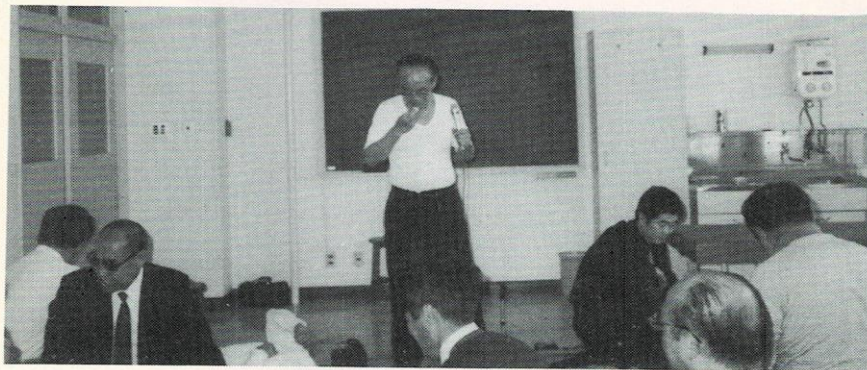
参議院議員
岩 動 道 行 先 生
本会顧問に



岩動道行先生
学術講習会
11月3日・4日



講演する芹沢博士



実技指導される芹沢博士

あいさつ



理事長 石川文治

会員の皆様には益々御清栄にて三療に御精勤の事およろこび申し上げます。

昭和六十年五月十三日、私儀社団法人日本鍼灸師会創立三十五周年記念式典において、はり灸師として国民保健の向上発展に寄与されたとして、厚生大臣表彰を頂きました。皆様の愛念の賜と厚く感謝申し上げます。

県鍼灸師会の総会后、花巻師会で会長が交代されましたので一部の人事の異動がありました。

七月六日、七日につなぎ温泉「愛真館」で行われた東鍼連総会岩手大会が皆様の御協力により盛会で無事に終了出来ました事は役員初め、皆様の御力添えの賜とあつく御礼申し上げます。参加者・県外、四〇名、岩手六十二名の出席でした。

翌七日午前九時よりの関野先生の鍼灸あん摩マッサージ治効のメカニズムについては時間があつたらもっと教えて頂きたかったのですが帰りの時間が制限されているのが残念でした。これには七〇名の出席でした。

岩手県鍼灸師会長、佐藤徹氏が辞任されて井上正敏氏が就任されました。

岩手県保険鍼灸マッサージ師会会長、三浦一良先生が七月二十八日さくら会館で行われた岩保会の総会で辞任され、石川文治が選出されました。よろしくご頭い致します。

東北六県師会長会護が十月五日仙台市栗原であり、東鍼連四十周年記念式典について協議、六十一年七月秋保温泉ニュー水戸屋で開催予定。

老人福祉治療に関する調査を越本先生を通して、全国都道府県会長に依頼しておりましたがまとめましたので、当日六県師会長に手渡しました。

全鍼師会長会議が十一月十八日東京日本青年館で午後一時よりあり、翌十九日全鍼師会顧問議員団会結成が永田町のキャピタル東急で朝八時より九時半迄あり、会長に鈴木善幸先生になって頂き、岩動道行先生に御出席頂き、岩手の業界につきお話し申し上げ御理解を頂きました。今後が期待されます。

十二月四日、水沢市役所保健課に、同意書を持参した患者の委任払いを認める様、議会の議決書を持参してお願いしましたが、一月二十四日水沢市保健課長名で、国からの指導があり添いかねますので御了承下さいと回答がありました。

一方、十二月五日、北峯氏より一関市議会で老人福祉治療の請願が通り来年度実施に向けて協議中と連絡があり、明るい見通しとなり喜んでおります。以上、経過報告を兼ね御あいさつと致します。

会 員 調 査 表

(社) 岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会

昭和 60 年 12 月 31 日現在

| 師会名 | 1 会員数 | 2 女性会員数 | 3 会員の年齢構成 | | 4 自営業の会員数 | 5 業者を雇い入れている自営業の会員数 | 6 病院・施設に勤務の会員数 | 7 休会している会員数 | | 8 高令会員数(七〇歳以上) | 9 使用している文字 | |
|-------|----------|------------|--------------|-------|--------------|------------------------|-------------------|----------------|------|-------------------|---------------|--------|
| | | | 三十歳以下 | 三十歳以上 | | | | 休会者の合計 | うち病休 | | 点 字 | 墨 字 |
| 盛岡 | 48 | 15 | 0 | 48 | 28 | 4 | 17 | 2 | 0 | 3 | 33 | 15 |
| 花巻 | 17 | 5 | 0 | 17 | 17 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 11 | 6 |
| 北上・和賀 | 12 | 5 | 0 | 12 | 12 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 10 | 2 |
| 胆江 | 24 | 8 | 0 | 24 | 20 | 1 | 4 | 1 | 1 | 6 | 16 | 8 |
| 一関 | 14 | 1 | 0 | 14 | 14 | 1 | 0 | 3 | 3 | 2 | 9 | 5 |
| 東磐 | 4 | 0 | 0 | 4 | 3 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 | 0 |
| 気仙 | 10 | 2 | 0 | 10 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 3 |
| 遠野 | 3 | 0 | 0 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 0 |
| 釜石 | 8 | 2 | 0 | 8 | 8 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 | 4 |
| 宮古 | 19 | 5 | 1 | 18 | 19 | 0 | 0 | 3 | 2 | 1 | 13 | 6 |
| 久慈 | 5 | 2 | 2 | 3 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 |
| 県北 | 14 | 2 | 1 | 13 | 12 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 10 | 4 |
| | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 178 | 47 | 4 | 174 | 150 | 8 | 22 | 13 | 9 | 19 | 124 | 54 |

- 60・3・24 六〇年度理事会を盛岡市「利府ホテル」に於いて開催
5・7 石川理事長厚生大臣表彰の決定通知が県医業課より通達される。
5・12～13 石川県山中町社会教育文化会館に於いて開催の全鍼師会六〇年度定期総会に越本副理事長出席する。
5・13 日鍼会創立三十五周年記念式典が東京「椿山荘」に於いて開催され式場に於いて石川理事長厚生大臣表彰を受賞される。
5・18 常務理事会及び監査会を盛岡市「利府ホテル」に於いて午後五時三十分より開催。
5・19 昭和六〇年度定期総会を午前一〇時より盛岡市「労働福祉会館」に於いて開催、役員改選等を行なう。正副理事長は次の通り、理事長 石川文治、副理事長 越本政男・下佐征昭。
5・19 石川理事長厚生大臣表彰記念祝賀会を総会終了後、同会場で開催する。
5・21 全鍼師会マッサージ局長より依頼の、施術料金等のアンケートを返送する。
5・27 全鍼師会より療養費に関する引き上げについての文書及び青年婦人部全国大会の文書を関係者に送付する。
5・29 法人現場報告書を知事宛に提出する。
7・5 東鍼連岩手大会準備打ち合わせ会を午後二時より、盛岡市つなぎ「愛真館」に於いて開催する。
7・6～7 第三十九回六〇年度東鍼連総会岩手大会を盛岡市つなぎ「愛真館」に於いて開催する。
7・20 「三療による老人福祉治療」の実態調査表を作製し全鍼師会傘下四十四都道府県師会、会長宛に発信する。
7・28 岩保会六〇年度総会に於いて石川理事長同会会長に選任される。
8・18 第一回常務理事会を盛岡市「利府ホテル」に於いて開催、特に人事に関する案件を処理する。
9・21 岩手県立盲学校同窓会六〇周年記念式典に祝電を送る。
10・5 東鍼連師会長会議が仙台市「ホテル栗原」に於いて開催され、石川理事長出席する。
10・7 知事報告後の役員改選に関わる法務局届出書類のすべてを完了する。

— 3 —

- 10・11～12 第十一回日本東洋医学系物理療法学会学術大会（兵庫大会）が姫路市市民会館に於いて開催され越本副理事長参加する。
10・31 全鍼師会関野会長より顧問議員団結成につき、鈴木善幸先生を会長に岩動道行先生を顧問議員にしたい旨の連絡を受ける。
11・3～4 県盲協との共催により学術講習会を筑波大学名誉教授、芹沢勝助博士を迎え、県立盲学校に於いて開催する。
11・3 鈴木善幸及び岩動道行の両事務所にそれぞれ要請文を携へ、石川・下佐正副理事長が訪問し懇談する。
11・18 全鍼師会・師会長会議が東京日本青年館で開催され石川理事長出席する。
11・19 全鍼師会顧問議員団結成朝食会に石川理事長出席、岩動道行先生と親しく懇談する。
11・19 石川理事長、衆議院・参議院会館の鈴木善幸事務所岩動道行事務所を御礼のため表敬訪問し指導を受ける。

- 11・21 石川、下佐の正副理事長、鈴木、岩動岩手両事務所を訪問し挨拶する。
- 12・5 一関師会提出の「三療による老人福祉治療制度について」の請願が一関十二月市議会で採択される。
- 61・1・11 第二回常務理事会を盛岡市つなぎ「つなぎ旅館」に於いて、午後一時より開催する。六十一年度総会開催師会である北上・和賀師会の新旧師会長も参加した。
- (以上、六十一年一月十一日現在まで、尚主要な部分を抜き出し詳細部分を省いた。)

昭和六〇年度 定期総会・議事録

日 時 昭和六〇年五月一九日（日）午前一〇時
 会 場 盛岡市大沢川原 財団法人 岩手労働福祉会館に於いて
 進 行 下佐総務部長
 点 呼 出席六十九名 委任状提出七十四名 総会は成立
 開会の辞 三沢常務理事
 理事長挨拶 石川理事長
 顧問挨拶 顧問 菅原長治

石川理事長、厚生大臣表彰を受賞されたので被露式を行う。越本副理事長より受賞の経緯が述べられたあと表彰状が読みあげられ満場拍手。尚、五月一三日に東京都文京区、椿山荘に於いて開催の日本鍼灸師会創立三五周年記念祝賀式典会場で受賞された。

— 4 —



挨拶する石川理事長 右越本副理事長



左より下佐副理事長 加藤議長

議長選出について、進行の下佐総務部長が会員に諮った結果、執行部一任ということになり、加藤敏勝氏を指名、加藤氏議長席に登壇、就任挨拶を述べたあと記録人に越本副理事長、署名人には佐々木至、阿部禎夫の両氏を選出し議事に入る。

議事

第一号議案 昭和五十九年度各部報告承認の件

一、理事長会務報告、二、事業報告、三、庶務報告、各々担当部長より報告され質疑もなく承認される。

第二号議案 昭和五十九年度決算報告

猪ノ口常務理事より報告されたあと山本孝一監事より監査報告が行われ承認される。

第三号議案 昭和六〇年度事業計画案の件

越本事業部長提案説明どおり可決される。

第四号議案 昭和六〇年度予算案の件

猪ノ口常務理事が提案説明、原案どおり可決される。このあと六十一年度の総会開催地となっている北上・和賀師会の南川忠氏より、開催案内の挨拶が述べられたのに続いて、七月六、七日に開催される昭和六〇年度第三十九回東鍼連総会岩手大会を成功させるために皆様の御協力をお願いすると中村哲夫実行委員長より要請が述べられ、理事長からは開催当日に手伝って頂く方に委嘱状を送り、お願いすると付け加えられる。このあと北峰一関師会長より老人に対する鍼灸マッサージ料金の公費負担について同市議会に請願書を提出した旨の報告が行なわれた。尚、理事長より各師会とも一関師会の方法による運動を行って欲しいとの発言あり。

第五号議案 定款の第一章・第二条の改訂について

本会の事務所を盛岡市高松四丁目十八番二十二号、渋川澄意方より、盛岡市箱清水一丁目三十六番五号、下佐征昭方に移転の登記を行わなければならないので承認を頂きたい。下佐総務部長より説明があり、可決される。このあと渋川副理事長より全鍼師会が進めている青年部の結成については本会としてはその必要はないと説明し会員も了承する。

第六号議案 役員任期満了に伴う改選の件

議長より役員の選出方法について諮った結果、無記名投票により選挙を行うという案が圧倒的多数となり投票を行なう。尚、選挙管理委員を次の五氏を委嘱、開票事務を行った。

阿部禎夫、大川イト、滝沢省蔵、今野進、**工藤六男**、**委員長は阿部禎夫**。

投票の結果は次の通りに決定された。

1.理事長には石川文治、2.副理事長には越本政男、下佐征昭、3.監事には鞠子栄、山本孝一。

このあと正副理事長協議により、次の六氏に常務理事を委嘱した。中村哲夫・猪ノ口富蔵・菊地安夫・三沢五郎・大川イト・多田兼雄。

新正副理事長挨拶が行なわれ議事終了となり、加藤議長満場拍手のうちに議長席より降壇する。

閉会の辞 昭和六十一年度定期総会の開催地となっている、北上・和賀師会の南川忠氏が述べ、午後一時一五分閉会となる。

以上

記録人 越本 政男 ㊟

署名人 阿部 禎夫 ㊟

署名人 佐々木 至 ㊟

社団法人 岩手県鍼灸接摩マッサージ指圧師会
役員名簿

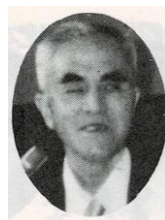
昭和六〇年五月改選



顧問
衆議院議員
鈴木 善幸先生



顧問
参議院議員
岩動 道行先生



顧問
菅野 長治
(現岩盲協理事長)



理事長
石川 文治
保険部長
県鍼灸按摩等審議委員



副理事長
越本 政男
事業部長
県鍼灸按摩等審議委員



副理事長
下佐 征昭
総務部長
鍼灸按摩試験委員



常務理事
猪ノ口 富蔵
会計部長



常務理事
三沢 五郎
総務

- 7 -



常務理事
菊地 安夫
保険



常務理事
中村 哲夫
総務
鍼灸按摩試験委員



常務理事
大川 イト
会計



常務理事
大野 六雄
事業



監事
山本 孝一



監事
阿部 禎夫

理事 (師会長)

猪ノ口 富蔵 盛岡 鈴木 源十郎 気仙
鞠子 栄 花巻 菊池 孝一 遠野

| | | | |
|--------|-------|-------|-----|
| 八重樫 昭則 | 北上・和賀 | 越本 政男 | 釜 石 |
| 菊地 安夫 | 胆 江 | 中村 強真 | 宮古 |
| 北峰 忠志 | 一 関 | 板橋 トク | 久慈 |
| 熊谷 勝 | 東 磐 | 加藤 敏勝 | 県北 |

表彰受賞について

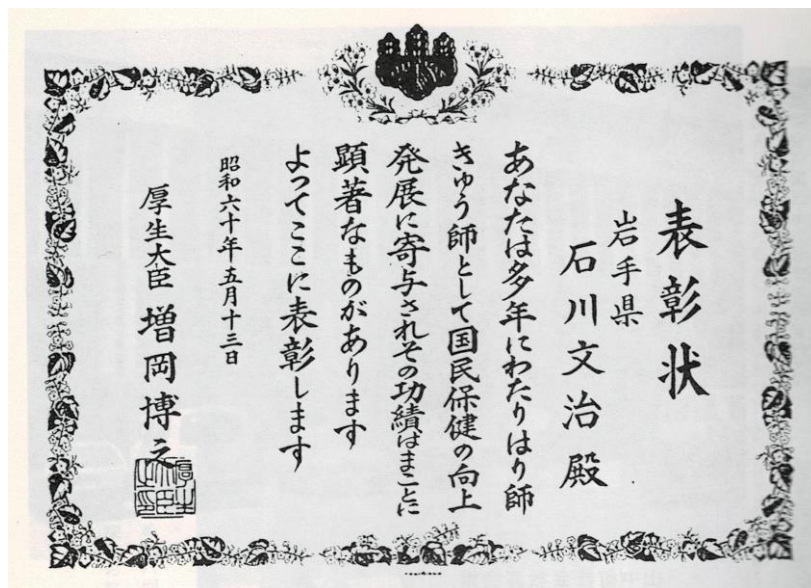
理事長 石川 文治

天皇陛下は六〇年四月、木下日鍼会名誉会長に勲四等旭日小綬章を賜りました。

六〇年五月十三日、東京都目白台の緑と紅い花に囲れた椿山荘において行われた、社団法人日本鍼灸師会創立三十五周年記念式典において厚生省、衆参両国会議員をはじめ会員、来賓など二〇〇名以上の人々の集りの席上で、医療事業功労者（鍼灸事業功労）として別紙の通り厚生大臣より表彰を頂きました。全国で四十五名、鍼灸の業務が国に認められて、この様に一度に多くの鍼灸師が表彰されましたのは、初めてと思います。

これ偏に、会員皆様方の愛念の賜と深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

— 8 —



社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会 昭和60年度

定期代議員会並びに総会政治連盟総会報告

(社) 岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会代議員 越本 政男

日 時 昭和六〇年五月二日 (日) 一三時三〇分～一八時

昭和六〇年五月三日 (月) 九時～一八時

場 所 石川県江沼郡山中町西桂木町山中町社会教育文化会館

代議員会 五月二日 (日) 一三時三〇分～一八時

代議員総数一五四名 出席八八名 委任状四三名 依って代議員会は成立。

- 1 関野会長挨拶
- 2 来賓祝辞 地元選出代議士秘書、山中町長ほか祝電は衆参両院等より五〇通を超える。
- 3 議長選出 議長に戸荻初（茨城）、副議長に君島忠勝（神奈川）の両氏が選出される。
- 4 書記に草田昭蔵（東京）、佐藤仁作（東京）
- 5 署名人に井上新月（東京）、杉田久雄（神奈川）

議 事

- 1 昭和五十九年度各部局報告

— 9 —



山中町社会教育会館

- イ、総務局報告（伊藤孝）各種会議の開催、第一次訪中団、全鍼師会情報三十五号までの発行等。
- ロ、学術局報告（今江益）治療実態調査に関するアンケートのまとめ、全国指導者研習会の開催、日東医学熊本大会への協力。
- ハ、法制局報告（福島裕恭）八者（全鍼師会、日鍼会、全病理、理教連、全視協、東洋医学学校協会）なお日盲連、日マ会は欠席した。協議会で法改正を提唱し協議した。カイロプラクティック立法阻止に対する陳情書を厚生省に提出、回答を求めた。
マッサージ名称の不当使用の禁止についての陳情を警視庁、厚生省、警察庁、東京都議会に行なった。（尚、肝腎な日マ会が何もしていないのは不思議だと、警視庁で言っていたとか）
- ニ、保険局報告（千葉芳江）健保マッサージ問題対策協議会での活動、鍼灸マッサージの健保取扱いの条件改善を求める全国代表者会議への参加、健保推進団体協議会の発足。
- ホ、組織局報告 各地方県師会に於ける祝賀式典等への出席など。
- ヘ、渉外局報告 衆参両院議員連盟並びに全鍼師会へ理解を持つ国会議員との接触、鍼灸マッサージ団体との融和協調、日本医師会へはたらきかけ鍼灸マッサージの理解、日中鍼灸学術の交流など国際的にも社会的にも全鍼師会が目的とする向上のための活動を続けている。
- ト、広報局報告 全鍼師会情報六回の発行、新事業としてはテープを作成。各県師会に発送したが不慣れのために六回発行すべきところ二回しか発行できなかつたことを深くお詫びする。

— 10 —

チ、マッサージ部報告 昭和五十九年の活動方針として次の三点を掲げたが満足な結果が得られなかった。



- (1) ブロック単位でマッサージ営業に関する討論会の開催。
- (2) 五十八年度調査未回収分の早期回収。
- (3) 施術者年令調査と、それに基づく高令者施術の対策。

リ、青年部報告 第一回全国青年部大会を八月二十六～二十七日に京都で開催した。京都・大阪など十五都道府県よりの参加があった。

2 昭和五十九年度決算報告

歳入総額四千七百一〇万六千四百四円、歳出総額四千四百四十八万九千六百三十二円で二百六一万六千四百七十二円の黒字となった。

3 監査報告

川村智夫監事報告、氏は各県とも会員増加に努力されたい。特に埼玉等は人口の増加に伴ない業者も増加している筈だと指摘する（この発言に対し、十三日の総会冒頭で長岡埼玉県師会長より埼玉を誹謗したとして氏に対し抗議の発言を求めようとしたが議長とりあげず）以上報告が行われたあと質疑に入った。

質問 … マッサージの名称が、セックス産業にまで使われているが、吾国古来の按摩をどのように考えているか。

回答 … マッサージ按摩は免許の関係で一体不離で、どちらかだけを使うことは出来ない。

質問 … 患者同盟との関係はどうなっているか。

— 11 —

回答 … 患者同盟には援助していない。枝葉末節にこだわって機能していない、勝手に献金運動をしたり、全鍼師会を非難したりする行動には到底協力できない状況である。

但し、患者同盟を支援することを執行部で決めながら翻すとは少なくとも軽卒すぎる等の批判も出た。以上、承認する。

4 昭和六〇年度会務運営の基本方針が述べられる。

5 昭和六〇年度事業計画案

- (1) 会費は据え置き、新しい財源の掘り起し、予算執行の節減、基本金の蓄積、財政基盤の確立。

- (2) 青年婦人局、視覚障害者対策局、政治局、マッサージ局、鍼灸局、事務局の新設など組織機構の整備充実。
 - (3) 所得補償制度および賠償保険の普及、治療資材の改良と原価供給、共済給付金および給付範囲の検討など共済会の充実発展。
 - (4) 青年及婦人組織の確立などニューリーダーの育成。
 - (5) 日東医学会員の増強、関係学術文献の収集と提供、学術研修会の開催など学術の振興発展。
 - (6) 保険取扱いの普及と取扱い条件の改善と違法行為の取締り、鍼灸マッサージの普及宣伝など業権擁護とその拡大。
 - (7) 会館改築の検討。以上、原案通り可決される。
- 6 昭和六〇年度予算案（五千百五十二万二千四百二二円の歳入総額）
原案通り可決された。
- その他、所得補償について、政治連盟についての説明などあり。



兼六園（金沢）

— 12 —

総 会

日 時 昭和六〇年五月一三日、午前九時～一一時

会 場 昨日と同じ会場

総会は、昨日の代議員会での議決案件の承認を得たあと、地方師会よりの提出議案などを審議したあと、役員を選出を行ない、関野会長が四度目の会長となった。この日も正副議長には昨日の戸荻、君島の両氏が登壇した。地方提出議案のうち、近畿ブロックより、柔整師の乱診乱療対策として、厚生省前でハンガーストや会計検査員に直訴すべき等と言う声明文なども読まれた。全鍼師会功労者として一〇名に感謝状が贈られたが、本会の渋川澄意氏にも贈られた。

◎総会終了後、引き続き政治連盟総会が開催された。

- 1 開会宣言
- 2 委員長挨拶
- 3 昭和五十九年度の活動報告と六〇年度の活動方針について
- 4 昭和五十九年度決算報告について

以上、原案通り承認可決した。（但し七百万円足らずの政治資金では淋しいが）

昭和六十年（第39回）東鍼連総会岩手大会報告

副理事長（事業部長）越本 政男

はじめに、此の大会を開催するにあたり実行委員会を組織し、再三再四、会合を持ち運営に万全を期した。委員は次の九名である。委員長 中村哲夫、委員 石川文治・下佐征昭・越本政男・渋川澄意・鞠子栄・大川イト・猪ノ口富蔵・三沢五郎。これらの委員は大会前日の七月五日、午後二時に会場である愛真館に集合、種々準備にあたった。尚、大会当日、次の方々に協力を頂いた。阿部禎夫（盛岡）四戸文雄（盛岡）高橋睦子（盛岡）山本孝一（県北）渡辺康子（盛岡）。

日 時 昭和六〇年七月六日（土）午後一時

会 場 盛岡市つなぎ温泉 愛真館

総会は、定刻通り下佐副理事長の司会により開会となる。

出席者 一〇二名（尚、岩手は六十二名出席）

- 1 歓迎の辞 岩手県師会理事長 石川 文治
- 2 東鍼連会長挨拶 川村 智夫
- 3 来賓祝辞
岩手県知事代理・岩手県環境保健部医薬課長
高橋 隆 殿

— 13 —



東鍼連岩手大会参加会員

盛岡市市議会議長・全国市議会議長会会長

千葉 正 殿

社会福祉法人岩手県盲人福祉協合理事長

菅野 長治殿

4 祝電披露

衆議院議員 鈴木 善幸殿

岩手県議会副議長 小泉久仁雄殿

5 全鍼師会長挨拶 会長 関野 光雄

6 各県師会・代議員の確認

岩手の代議員 越本政男、三沢五郎

7 議長を選出

議長団には越本政男、高橋佑好（宮城）の両氏を決め議長席に登壇し、記録人には田中三雅氏（宮城）、署名人には上野照氏（宮城）の両氏を決め議事に入る。

議事は川村会長の会務報告を皮切りに、事業報告、五十九年度決算報告と進められ報告通り承認したあと、六〇年度の事業計画案が審議された。来年度は、東鍼連結成四十年目にあたるので記念大会を行いたいと川村会長より提案され承認のあと秋田・山形両師会より議案が提出され、この件について審議する。

山形よりは、東北各県老人三療の助成事業の実態と国保取扱いの現状調査について。提案理由としては、山形市では年三回程度の老人福祉治療を実施しているが、現在他県では如何になっているか。また、国保取扱いについても調査して頂きたいと説明。川村会長より、ここに各県師会長が出席しているので現況を聞ける、資料なども送って貰えばよいと回答されたが、更に資料不足を訴える。

— 14 —

ここで関野会長に、全鍼師会に資料があるかと問いただしたところ、会長は無いと答え、但し、福岡方式による資料を近日中に発刊すると答える。

秋田からは、カイロ問題について、健保取扱いについて、五十肩に対する同意書なしで治療を認めさせる運動について。カイロ問題については、説明が問題から些か離れたもので、真意の程が計りかねたが、福士氏の説明は、各県が各保健所に登録されている医業類似行為者を調査することによって、無免許・無資格者をはじき出せるという意味であったが、各県師会長こぞって難問だとした。

また、関野会長より、法令二〇七号により登録された療術師たちは、既に高齢化し業務を行ない得る状態ではないはずで、現在ほとんど存在せずとの答弁あり。結局、この件は宿題とされる。

次に、五十肩の件は、関野会長も今後運動すると答えられる。続いて昭和六〇年度の予算案を可決し次年度の総会を六十一年七月六日、仙台市秋保温泉に於いて開催することを決定。議長団降壇、次年度総会開催県である宮城県が閉会の辞を述べ閉会。午後三時終了。

総会終了後、約一時間余にわたり、関野全鍼師会長より業界の情勢について講演が行われた。

此の日、午後六時より懇親会が開催された。

七月七日（日）、午前九時より十時までの一時間、関野全鍼師会会長より「鍼灸あん摩マッサージの治効メカニズムと硬結及び圧痛の出現機序のメカニズムとの関連性とその応用」についてと題し貴重な講演を頂いた。

お礼のご挨拶

第 39 回東鍼連昭和 60 年度総会・岩手大会

実行委員長 中村 哲夫

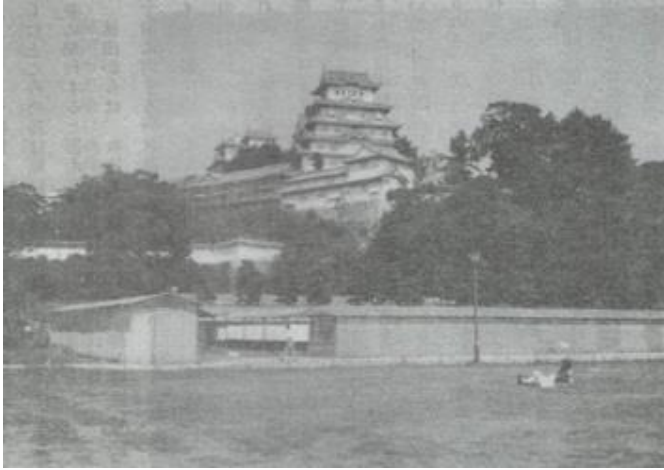
大会実行委員長という重責を仰せつかり、この私に果して大任が全う出来るのか、身の引き締まる思いでした。幸い委員諸氏の一丸となつての御活躍に支えられ、大過なく無事に大会を終了させることが出来ました。また、当日は、あいにくの悪天候にも拘わらず多数の会員の皆様の御参加を頂き大会を盛り上げて頂きました。御陰様にて大会を成功させることが出来ました。有難うございました。心より御礼を申し上げます。

今年も会員の皆様方の御健康と御繁栄を祈念し、お礼の言葉と致します。

— 15 —

日本東洋医学系物理療法学会第十一回学術大会（兵庫大会）に参加して

副理事長 越本 政男



姫路城

白鷺城とも言われ日本一の名城とうたわれる優雅な姫路城がある街、姫路市市民会館に於いて十月十一日（金）十二日（土）の二日間に亘り、千余名の参加者を集めて第十一回日東医学会学術大会（兵庫大会）が開催された。テーマは二十一世紀の医学と鍼灸マッサージ。一般講演二十二題、特別講演三題、シンポジウム「鎮痛医療と鍼灸マッサージ」。

一般講演では、円形脱毛症と中年婦人の抜毛に対する鍼治療の治験発表があった。円形脱毛症についてはテレビでも見たが、技術的に難かしいものではなく、演者も患部の周囲から中心に豪鍼を十本程束ねて皮膚刺激を行なっている。集毛鍼で充分治療出来ると思う。この演者は、僅か二例のみの治験に過ぎないと言っていたが、中年婦人の場合は抜毛・倦怠・不眠・浮腫等があるため自律神経を整えるための全身療法を行ない、頭部には豪鍼を十本程束ねて皮膚鍼を行ない、二回の治療で抜毛が治まり、治療は初診日から隔日六日、次いで、週一回ずつ六回で愁訴は全く消え、その後月一回の治療で半年後には頭髪は正常に戻った。

「症例二」の円形脱毛症では、五十歳の大工で頸肩腕症候群・腰痛・難聴の三つの治療を行ったが治療中に患者が言うには、近頃頭髪が抜けるんですが、と言うので、見ると直径三センチ程のハゲがあったので、これも豪鍼を十本程束ねて皮膚針を行なった。週に一回、計三回行なったが二ヶ月後来院して「先生お陰様で毛が生えて来ました」という。更に半年後、電話で聞いて見たら「ハゲがすっかり治りました」と感謝された。尚、皮膚刺激は可成り強く行ったという。



姫路市民会館

私が思うには、頭部のみの治療でなくこの方は全身療法を行なったことにより治効を得たのではないか。頭部のみの刺激ではどうなのか。

次に、便秘に対する外四満穴の追試と題してでは、演者独特の手法が述べられたが、参考になったのは沢田流神門穴に施灸することだ。従来の便秘に使われる府舎、腹結刺鍼に神門穴に施灸を併用すれば効果があるのではないか。(参考・刑部忠和著(おさかべ、ただかず著「たった十一円で効く驚異のツボ療法」)の中で便秘の特効穴として書かれ、但し左神門のみを使う、左右を使うと無効とある)明治鍼灸大学では、マイクロ波灸装置の開発が進み、近い将来に携帯用の同装置が開発され発売されると言う。盲人業者にとって福音となるう。

特別講演では「人脳の発達と老化」と題して、岐阜大学教授の出浦滋之(でうら・しげゆき)先生が講演された。成人の脳は、重さ約一、三五〇グラムで便宜的に大脳と小脳および脳幹に分けられる。これらのうち小脳と脳幹は、主として反射的に基本的生命維持機能を行なっているが、精神活動はない。これに対して、大脳、特に大脳半球は・他の脳部のうえにたって、たくましく、うまくよく生きるための、いろいろな精神活動を行なっている。

人脳の発達を他の動物の脳と比較すると、出生時は他の動物より未熟な状態にある。脳については、人間は生理的早産である。出生時の人脳は約四〇〇グラムであるが、身体の中のどの部分より発達が速やかに発達し、生後一年で二倍、六年で三倍となり、その後は緩やかに増加して二十歳前後で完成する。年令に伴う脳の発達には三段階がある。第一段階は生後三歳頃までで、周囲の環境を無条件に受けとめて神経の連結が出来る。第二段階は四～七歳の頃で、自我の発達を見る時期であり、第三

— 17 —



日東医学会学術大会兵庫大会

段階は十歳前後で自我が確立し創造性が生まれ、これに伴って複雑化する。完成後の脳は、やがて細胞が老化して死亡する。二十五歳を過ぎると約五万個の神経細胞が(一日に)死ぬといわれ、その結果脳の皮質が薄くなり、脳室の拡大、脳重量の減少が起る。死んだ脳細胞が果たしていた機能は直ちに代償されないので大脳の機能は低下し、著しい場合には「老人ボケ」の状態とる。但し、神経細胞は全てが一時に働いているのではなく、余力があるので生き残りの細胞を再訓練することで脳機能を代償することが出来る。ここにリハビリテーションの意義がある。

宿舎は、姫路市の西北にある塩田(しおた)温泉「夢の井ホテル」。尚、開会式で学会旗が披露された。第十二回大会は石川県で行なわれる。

学術講習会

十一月三、四日の二日間に亘り、県立盲学校に於いて本会と県盲人福祉協会と共催で、筑波大学名誉教授・医学博士・芹沢勝助先生をお招きして、多数の会員が参加して学術講習会が行われた。

テーマは鍼灸マッサージの理論と臨床ならびに業界の展望、今回は臨床に主眼が置かれ、畳のある部屋で二人ずつペヤーを組み、実技の指導を頂いた。鍼の効果は別として、圧痛を現わしているツボを圧迫法を用いることは有効で、先生は此の圧迫法を「指はり」と称され、此の「指はり」の実技を手とり足とりされて懇切丁寧に指導して頂いた。頸椎より始まり、肩背部・腰・上肢・下肢・足首・腹部の全身に亘る実習に、参加者一同汗だくだった。

— 18 —

鍼灸専門家が偉くて三療を行う者に対し蔑視する風潮があるが間違っているとして、鍼より場合によっては「指はり」の方が効くことも多いと述べられた。業界展望では、今、整骨師が乱診乱療し鍼灸マッサージ業界に深刻な影響を与えているが、彼等達も窮地に追い込められる日も遠くない。整形外科医の業界にも影響を与えているので、医師等の手で鉄槌が加えられる時が来ると語られた。

何時もながらの先生の名調子に、参加者一同深い感銘を受けた。

(事業部長)

東北六県師会長会議

理事長 石川 文治

昭和六〇年一〇月五日午後一時より、仙台市花京院二丁目一の二四、ホテル栗原で開催され出席者は川村会長、鈴木重雄（福島）、石川文治（岩手）、石塚直治（秋田）、秋葉久次郎（山形）、小松義春（宮城副会長）、上野照（宮城副会長）、高橋佑好（会計）、青森（欠席）。

川村会長のあいさつの後、議題に入り東鍼連四〇周年記念式典の開催について

日 時 昭和六十一年七月六、七日

場 所 秋保温泉ホテルニュー水戸屋（六一年五月一日開店）

会 費 一万円（宿泊懇親会を含む）

日 程 六日十一時から師会長会議、十三時から表彰式並に総会。

記念講演会は関野全鍼師会会長

表彰者は各県より五名選出、三月迄に墨字で名前を報告、表彰者には表彰状並に記念品を贈呈。次に、三月迄に各県より東鍼連会報にのせる資料を送ること。

福島県鍼灸按摩マッサージ師会創立七十五周年

法人十五周年記念学術大会開催について

日 時 昭和六十一年四月二十六日（土）・二十七日（日）

場 所 未定

発表者 各県一人以上で、抄録は二月中に出して下さい。

時間は一人二十分として、按摩マッサージの治験を主としたものが望ましい。

その他として、最近運動による関節の痛みで小中高生の鍼灸マッサージに来る生徒が多くなった。思春期によるホルモンのバランスで関節の痛むこともあるが、学校安全会に申込んで学割で治療してはどうか。

会議終了後、懇親会があり五時半解散。

全国師会長会議並に顧問議員団会結成

理事長 石川 文治

六〇年十一月十八日（月）、東京新宿の日本青年館に於いて、全国師会長会議が開催され四十五都道府県中三十五県師会の参加で、午後一時開会、関野会長のあいさつにはじまり、議長に茨城県師会長戸苅初氏を選出して、各部局より事業経過報告あり、つづいて協議に入った。

- 1 アンケート結果に対する対応について
- 2 下半期における全鍼師会の活動について
- 3 健保推進協の現状と健保推進運動の局面打開の方途について四団体の話合いの上、健保取扱いの条件改善に努力している。
- 4 柔整師の違法対策について、鍼灸の取扱いについても彼らと同様の取扱いを強く要望して条件改善に努力する。
- 5 全鍼師会顧問議員団会の結成とその目的については健保取扱いの条件改善のため。
- 6 全鍼師会の経済基盤確立の方途について、各師会の潜在会員の登録と共済商品の取り扱いを拡大する。
- 7 全鍼師会の政治連盟では、六月に施行される参議院議員の選挙に当たり、比例区（元全国区）の候補者に、日本歯科医師会が推薦している関口恵造先生（現参議院の社労委員）を全面的に支援することになりましたのでご協力をお願い致します。



全鍼師会会館

予定より一時間遅れて全議事を終了、青年館に全員一泊。

翌日十一月十九日（火）午前八時より永田町のキャピトル東急、銀の間に於いて、全鍼師会顧問議員団会の結成が、衆参両議員八十名（議員本人四十五名）の臨席を得て、朝食形式により結成されました。

岩手よりは、鈴木善幸前総理と岩動道行先生にご参加頂きました。ことに鈴木先生には私達が会場に到着する前からお出を頂き待っておられて恐縮しました。業界の現況と岩手県鍼灸師会の様子をお話申し上げ、先生からご質問をされまして私達のおかれている立場を説明致しまして、今後の御力添

えをお願いしました。朝食会の後、議院会館に鈴木先生、参議院会館に岩動先生の事務所にお伺いして、本日の御礼と今後の御力添えをお願いして帰りました。

参議院議員 岩動道行先生 本会の顧問に

六〇年十一月、現参議院議員（岩手地方区選出、前科学技術庁長官、前自民党県連会長）岩動道行先生、本会の顧問になって頂きました。

十一月五日、石川・下佐正副理事長、岩動先生の盛岡事務所を訪問。先生に顧問になって頂くようお願い申し上げた処、後日ご承諾の文書を頂きました。

岩動道行先生の略歴

紫波郡紫波町出身・大正二年十月十五日生・京都帝大法学部卒・大蔵省に入る・広島税務署長・吉田総理秘書官・駐英大使参事官・東海財務局長等を経て、昭和三十五年大蔵省を退官・池田自民党総裁秘書官・昭和三十八年衆議院議員・昭和四十三年より現在まで参議院議員・昭和五十八年十二月二十七日第二次中曾根内閣の国務大臣科学技術庁長官・原子力委員長・宇宙開発委員長・科学万博担当大臣・前自民党岩手県連会長・現在自民党総務・七十二歳。

岩手県保険鍼灸マッサージ師会

◎六十年年度、定期総会で三浦会長勇退

石川本会理事長が会長に就任

六十年年度の総会は、酷暑が続く七月二十八日午後一時より盛岡市さくら会館で開催された。出席一八名委任状三〇名により総会成立。

赤崎幾哉副総務部長の司会により進行され、井上正敏（岩鍼会会長）の開会の辞に続き、三浦会長より「岩保会結成より任にあたって来たが辞退したい」との挨拶のあと、井上正敏氏を議長に、記録人に赤崎幾哉氏を署名人に越本政男氏を各々決めて議事に入った。

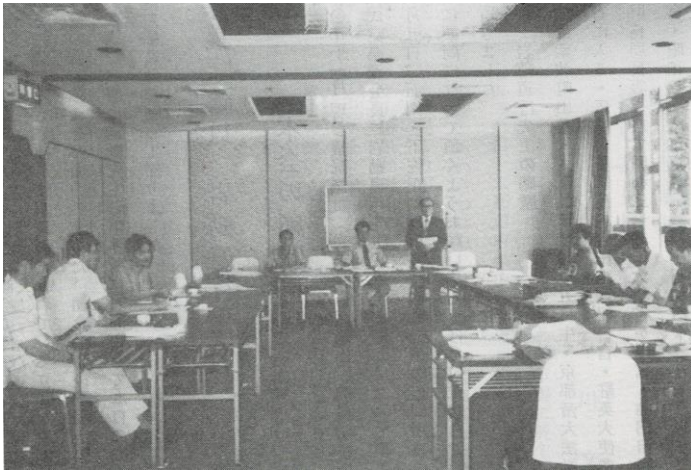
議事では、本年度を保険獲得元年とすべく保険推進委員会の運営と予算の明確な運用等に就いて協議、役員改選を行ない閉会した。なお、総会終了後、大友保険部長を講師として約二時間に亘り保険取扱いについての研修を行なった。

○新役員

顧問 三浦一良、会長 石川文治、副会長 井上正敏、副会長 越本政男、理事（総務部長） 赤崎幾哉、理事（財務部長） 阿部嘉兵衛、理事（財務副部長） 猪ノ口富蔵、理事（総務） 駒嶺徹、

— 21 —

理事（総務） 阿部栄子、○監事 田中勇、監事 野沢孝一、保険推進委員（委員長） 大友博康（岩鍼会）、猪ノ口富蔵、中村哲夫、清水端久生（岩鍼会）、桐生誠（岩鍼会）、北峰忠志、以上六名。



挨拶する三浦前会長

岩手県鍼灸師会



井上会長

岩手県鍼灸師会では佐藤会長の勇退により、次の三氏が選任された。

会長 井上正敏（気仙郡三陸町（おきらい））、副会長 佐々木典正（花巻市湯口）、副会長 赤崎幾哉（上閉伊郡大槌町）。

なお、岩手鍼灸師会では、同会学術部主催による研修と全日本鍼灸学会岩手支部主催の研修会と併せた研修会を、年四回（五月・八月・十一月・二月）盛岡市内丸北ホテルで行なっている。全日本鍼灸学会岩手支部研修会は午前中に行なう。講師は今村伸二医博、午後には同会学術部主催で古典の理論で「難経八十一難」の勉強で参加者は八名程度。

保険は利いて居た。

理事長 石川 文治

結論から申し上げます。鍼灸マッサージ治療に保険は適用になっていた。それは、療養費払いと云

う型式で、医師の同意書を添付して施術者発行の受領書を患者に渡してやれば、国保は市町村の保健課、健保の場合はその事業所の係りの方に提出すると、そちらで手続きをしてくれる簡単な方法です。

ところが、私は今迄、国保であれば三割頂いて後の七割は市町村の保健課から、施術者に三ヶ月後に支払われる、所謂受領委任払を実施することが保険が効いた事とと思っていましたが、これは現段階

では不可能のことと知りました。それは十一月二十七日付で耳鼻科の先生から、末梢性弦量症、自律神経失調症の病名で診断書を頂いて来た七十二才のお婆ちゃんがあり、水沢市役所保健課に行って、兼ねて水沢市議会に請願し採択になっている書類を持って委任払いを実施して頂くことをお願いした所、しらべて見るのでとの返事で持っておりましたところ、一月六日付で、昭和二十五年一月十九日保発四号並に昭和二十六年三月九日保発一四号の国からの指導があり添いかねますとの回答があり結局不可能となりました。

ところが、最初に書いた通りで、医師の同意書さえあれば三ヶ月間に三十五回保険で治療出来ますので長期の患者にとっては有効な方法であると思います。私は、医師の同意書を頂くことがむずかしく大変なことと尻ごみをして居りましたが『この度、岩手県鍼灸師会で「医師にお願い」のとても良い書類をつくり活用していますので、私もそれを使ってお願いした処、三件も違った医師から同意書が頂けました。やる気になれば出来るとわかり、意を強くしております。更に、後日同意を頂いた医師に御礼の文書（岩鍼会発行）を出して御礼を申し上げております。

勿論保険適用ですから、初回鍼灸で一、八五〇円、二回目から一、三九〇円ずつしか頂けませんが患者は喜んで継続してくれますが治療費が安いのが残念です。

保険師会とも協議して、この制度の中でどの様に食い込んで行けるかを検討して進めて行き度い考えであります。とにかく、今迄の保険は利かない考えから利くと云う考えに頭を切り替えて進めて行きましょう。後は、運用の面でどの様にしたら同意書が頂け、また同意書受領書はどの様な書式が良いか早急に進めて行きます。

受領委任が認められますと、毎月の審査会があり、これにも委員を出さなければならない。中々複雑ですが、今の療養費払いは直接意者から科金を受取り、その受領書を出すだけです。非常に簡単です。

私達は、卓越した治療は出来ても病気の診断は出来ない現状においては、医師に同意書をお願いして書いて頂くより方法がありません。

医師の理解のもとに進めて行くのが一番良い方法だと思います。

日本鍼灸マッサージ新聞より論評二題

論評シリーズ 「三療を取巻く現状」

その四、毎年三千人余りの三療師誕生

— 23 —

五十九年三月の盲学校高等部卒業生で、あんまマッサージ指圧師、はり師、きゅう師の資格免許を取った者が五七四人あったが、年間、三療師が何人ほど養成されているのだろうか。供給面を見てみたい。

まず、晴眼の養成施設だが、全国に二ヶ所、その一学年の定員が一、八四五人、国立の視力障害センターが五ヶ所で同じく一学年の定員が三四〇人、そして失明者更生施設が三ヶ所で一学年の定員が一七〇人、合わせて二、三五〇人余りである。これに盲学校卒業生を加えると約二、九〇〇人になる。

このうち、晴眼養成施設はご存知のように一割から二割の水増しは常識となれば、優に三千人は越えていよう。毎年毎年三千人もの三療師の誕生は、第一回、第三回でみてきた小さな需要市場にとっては大変な数である。第三回で述べた全鍼師会の調査……飽和状態もうなずけようというものだ。過当競争にならざるを得ない。

昭和五十七年現在の厚生省調査によると、三療の免許取得者概数は、あんまマッサージ指圧師が約八万三千人、はり師が五万人、きゅう師が四万九千人となっている。ちなみに、晴盲の比率をみると

盲人占有率はあんま師等で四五・六%、はり師で三八・二%、きゅう師で三六・九%と、いずれも晴眼者が多い。そして、先ほどの卒業生の毎年の状況をみても、晴眼者の年度卒業生が圧倒的に多く、晴盲の比率はますますひろがっていくことは確実だ。

もう一つ供給面で業界を取巻く不安定材料がある。それは、すでにお気付きと思うが、無資格者、無免許者の跋扈（ばつこ）である。とくに、カイロプラクティック師に代表される、あんまマッサージ師、はり師、きゅう師以外の医業類似行為者の横行である。

どのくらいいるのか。実態はつかめないが、二万人の間というのが常識的な線だろう。大変な数で、この人たちがまた、ただでさえ少ない需要を食い散らしているといえよう。

ところで、厚生省は、この療術について昭和五〇年から専門家による研究班を設け、調査・研究している。当初は二年ぐらいかけてといていたが、十一年たった今日もいまだに結論が出ていない。国会答弁でも、厚生省の健康政策局長（医務局長のことを、現在はこう呼ぶ）は「療術といいましても二百三十種類余り、大変数が多くいまだ研究調査中です」と逃げの一手、一向にラチがあかない。

ただ、筆者個人の見方としては、研究班の結論はある程度出ているが、しかし、その結論を公にすることにより、業界が大混乱しやしないかといった政治的判断から厚生省が逃げの一手を押し通していると思えません。

なぜなら、厚生省の健康政策局長が国会答弁で「ひとつご勘案いただいて」とか、「ご推察願います」とか、というあいまいな言葉を「研究調査中」と答えたあとに、必ずといっていいほど付け加えているからです。まあ、このことは筆者の個人的見解で、間違っておればご容赦願いたいですが、研究調査を始めて十年、長すぎるとは思いませんか？

ところで、アメリカから盛んに輸入され、野放しになっているカイロプラクテックとは、どのよ

— 24 —

うな療法なのだろうか。アメリカの有名なカイロプラクテック師の W・ペッパー著、間中喜雄ら共訳の「カイロプラクテック」によれば、脊椎手技療法のことで「多くの—ほとんどの—といってよい—疾患の原因を固定した脊椎位置異常、つまり“脊椎亜脱臼”にあると考え、このことによっておこる椎間孔の狭窄は、必ずその内容、殊に脊髄の障害をきたすはずで、従ってことに自律神経繊維の障害を介して、被圧迫根の支配する器官にまず機能的な、ついで器質的变化をきたす。これを手技療法でなおす」と概要述べている。

(六〇年十一月号掲載)

論評シリーズ 「三療を取巻く現状」

その五、四面楚歌の盲人三療師

あんまマッサージ、はり、きゅうの制度面をみてみたい。それは、明治鍼灸大学というはりきゅうの四年制大学が五十九年四月から京都に出来たことである。日本の医療行政は西洋医学が中心という基本的な態度は変わらないが（第二回参照）、はり師、きゅう師の養成を大学レベルで認めたことは画期的な出来事だといわざるを得ない。また、今年四月から大阪で関西鍼灸短期大学がオープンした。

しかし、ご存知のように大学、短大とも視覚障害者の入学は一人もない。教育費がかかりすぎることなどが大きな理由なのかもしれないが、大変残念なことであり、このことによって次のような影響が出てくるのではないかという恐れである。

つまり、晴眼のはり師、きゅう師は大卒で、視覚障害者のはり師、きゅう師は高卒というレッテルが世間一般にはられる恐れだ。現状でさえ、一部に「盲人はり師、きゅう師には不適格だ」という表現で疎外されようとしているのに、このようなレッテルをはられてしまつては致命的。昭和四十年に理学療法士（PT）等法が制定され、マッサージが骨抜きにされたことを思い出す。

また、はり師、きゅう師が大学レベルで教育、養或できるようになったということは、いずれ大学院レベルでも研究の対象になるということであり、誠に喜ばしい。が、しかし、このことにより、瞎眼のはり師、きゅう師と、視覚障害—盲人のはり師、きゅう師の格差がますます広がってしまうという恐れにもなりかねない。

そして、その結果が、大学や大学院レベルのはり師、きゅう師の身分が、高卒レベルのはり師、きゅう師と同じなのは「不合理だ、おかしい」という主張に変わっていったら大変だ。もちろん、はりきゅう大学側がこの問題に関して直接的に動くことはないだろうが、この大学を卒業したはり師、きゅう師が中心になって、いずれ動き出すだろうという予測は成り立つ。

定員百人だから年間百人であり、十年もたてば大きなエネルギーになる。

— 25 —

さらに、視覚障害者に都合の悪いことは、これらの主張が西洋医学を修めたうえで東洋医学系物理療法の効果を認めている一部の医師の間から打ら上げられているアドバルーン—AMT (Acupuncture and Moxibustion Therapist) などに結びつく可能性がありはしないかという恐れである。

ところで、日本医師会が明治の「はりきゅう大学」創設に反対したいろいろな理由が挙げられていたが、なかでも、現在の医療制度の混乱を挙げていた。つまり、憶測すれば、はりきゅう医師（仮称）が誕生して、現在オールマイティーである西洋医師の地位がおびやかされることを心配したともとれる。飛躍かもしれないが、はりきゅうの大学の新設を許した現状で、今の医師がいつまでもオールマイティーであるためには、このはり師きゅう師も医療補助者として医師に従属したところで位置づけるしかない。そうなれば、理学療法 (PT) などと同じように AMT と結びつかざるを得ないのではないだろうか。

さらに、日本医師会の中には、医師浪人—医師国家試験不合格者のことで、毎年約二千人落ちるが、このうら何回受験しても合格しない人たちに対して「彼らはみな医学士である。基礎医学、衛生行政、臨床検査技師など、彼らの能力を発揮出来る場は、いたるところにある。医師の指導のもとなら、公に医療に従事できるような新しい職種も考えられよう」といった主張もみられ、AMT に渡りに舟と結びつかないとも限らない。

こうなってしまうては、視覚障害者—盲人のはり師きゅう師は完全に医療のワクから閉め出されてしまう。はりきゅう大学の卒業生が出るのは三年後、 あっという間にくる。

(六〇年十二月号掲載)

三療による老人福祉治療に関する 実態調査の集計について

本会では、三療による老人福祉治療を実現させるため実態調査表を作り、七月二〇日付で全鍼師会傘下の四十四都道府県師会長宛に調査をお願いしました。結果は次の通りです。

1. 回答は二十七都道府県より寄せられた (うち電話によるもの二)
2. 十四の都道府県で行われている。
3. 十三の府県より実施されていないと回答があった。
4. この調査のなかで長野県の長野・松本の両市では業者が老人福祉施設に出張し治療を行い料金は県や市から給付されているという回答もあった。

注・山梨、岡山、沖縄の三県は全鍼師会に未加盟であるため調査の依頼をしていない。また和歌山は二師会が存在しているので各々に調査を依頼した。考察、無回答の県でも実施している市町村もあるのではないかと推測される。例えば此の制度を真っ先に実施したのは滋賀県大津市であるが、滋賀

— 26 —

盛岡師会

阿部 禎夫

会員の皆様には、お褒りなく精進のこととお慶び申し上げます。梅雨時のような短かい秋の次には、急激な寒波に見舞われ、昨年が続く豊作気分にあ水をさされたように、せわしなく昭和六〇年も幕をおろそうとして居ります。盛岡師会も、お陰様で会員各位のご協力を戴いて活動しております。昭和六〇年の締めくくりに活動状況をまとめてみました。

四月二十一日 盛岡師会総会—新役員選挙
五月 二日 第一回理事会開催—活動方針討議
七月六～七日 東鍼連総会開催—つなぎ温泉
九月 十一日 健康祭りボランティア実施—紫波町
九月 十五日 敬老の日ボランティア実施—老人クラブ
十月二十六日 第二回理事会開催
十二月 七日 忘年会開催—二八名参加

次に、盛岡師会の会員消息をお伝えします。

○死亡会員 細川一老さん 二月に急性肺炎で御逝去
○転入会員 三枚堂トシさん 四月から、釜石師会より盛岡師会に、中央治療院勤務
○新入会員 高橋本行さん サニー鍼療所開設 盛岡市大通三丁目九—二六

以上

花巻師会

広報部

一九八五年も最早や師走となり、一面の美しい雪化粧をして暮れようとしています。

各師会の皆様方は御健勝で躍進のよき年であったことと拝察して居ります。当花巻師会一年間の主な行事を一筆まとめてお知らせ致します。

五月二十八日 会長辞任により臨時総会を、花巻温泉「ホテル紅葉」にて開催、鞠子栄、佐々木善次郎両氏のラインでスタートしました。



忘年会

- 八月二十一日 盲会と合同でレクリエーションを矢幅温泉にて行ないました。丁度よい機会なので、各自の臨床経験について、大いにディスカッションを行ない、終了後和やかな昼食会に入り大変有意義なる一日を過しました。
- 十二月 五日 花巻温泉「ホテル花巻」にて、一年間の総決算、**家族ぐるみの忘年会**を催しました。料理は旨いしサービスよし、酒は呑み放題と三拍子そろって御満悦、自慢のどを競い合い、参加賞に三賞、音楽に合わせて時計廻り、止った時点で、手に持った賞品は自分の物、爆笑のうち、盛会裡に終了しました。一夜明けて、痛い頭をかかえて現実にかえり、きびしい生活戦線の中で頑張りましたよと、お互いに誓い合って散会しました。

尚、墨字の会報には忘年会の記念写真を掲載しますので何卒御覧下さい。

明日は筆者今年度最後のディーサービス当番、殆ど片麻痺患者の治療が主で、あきらめた暗い閉ざされた患者の心に、一筋の暖い希望の光明を与えるのも、我々の役目と心得て、会員一同誠意をもって治療にあたってきました。新春一月より、又、新たな気持ちで奉仕活動に力を注ぎ度いと念じて居ります。

八五年を振り返り、未来への貴重な糧として、実りある人生を送り度いと願っています。一步、一步と近づく力強い虎の足音を聞きながら、各師会の方々の御幸運をお祈り致しますと共に尚一層の御指導御交誼の程宜しくお願い申し上げます。

— 30 —

北上・和賀師会

総務部

一九八六年の新春を迎え、各師会会員の皆様には益々ご健勝にて業務に御励みの事とお慶び申し上げます。

さて、北上和賀地区の師会だよりを乱文ながらお伝えいたします。

行事

- (1) 定期総会、六〇年四月十八日（木）午前十時より和賀郡湯田（ゆだ）町のホテルふるさとランドで開催しました。二、三の議案を審議可決したあと、役員選挙を行ない次の通り選出されました。第十代会長には八重樫昭則（やえがしあきのり）、副会長には高橋久、監事に白藤都久子となりました。

なお、当師会では年々会員が減少しているため役員数も減らし、会長が庶務を副会長が会計をそれぞれ兼任して運営にあたることになりましたので今後共よろしく御願ひ申し上げます。

- (2) 慰問奉仕治療、六月六日午前九時より北星荘に高令会員を除く全会員が参加慰問治療を行なう。午後には玉の湯旅館にて、反省会と芋の子会を開き秋の味覚に舌鼓みを打ち親睦を深めました。

会員の消息

当師会の会員は、皆健在で業務に励んで居りますが当師会の最年長の阿部新次郎氏（七十八歳）三月中旬頃に体調を崩され入院加療中です。

お知らせとお願い 北上・和賀師会長 八重樫昭則

昭和六十一年度県鍼灸師会定期総会が、六十一年五月十七日（土）、湯田町湯本温泉ホテル「対滝閣」で開催いたします。各師会の会員の皆様方には多数の御参加を頂き度くお待ち申し上げます。何卒宜敷く御支援の程を御願ひいたします。

胆 江 師 会

師会長 菊地 安夫

寒冷の折柄、会の皆様には御変りなく御暮しの事と存じます。

◎昭和六〇年三月三十一日（日）水沢市吉小路にある「清和会館」に於いて、午後一時より総会を開催、全役員が再選された。

◎会員の消息、高令会員の佐藤宝山、千葉靖徳の両氏とも病気療養のため休会。及川竹治氏は、水沢市福原「福寿荘」に入寮。高令会員の岩城繁彦氏は、水沢市吉小路十三番地から新小路二十一番地に住所が変更された。電話（〇一九七）二五―三五三七

◎本会相談役の石川理事長が、昭和六〇年五月十三日に厚生大臣賞を受賞されましたので祝賀会を六十一年一月二十六日（日）「佐々光」に御夫妻を迎え開催の予定。

— 31 —

◎老人慰問治療、七月二十一日（日）水沢市見分森「寿水荘・立生苑」を慰問。なお六十一年二月二十三日（日）にも同所を慰問する予定。

一 関 師 会

師会長 北峰 忠志

健保取扱いは、鍼灸マッサージの業界においては同意書や委任払いなどの件で容易ではなく、福岡などではそれに変わる物として施設費払い、或いは老人福祉治療の方式を取り入れていますが一関師会においても、今年四月の定期総会においてこれを協議し、名誉顧問である市議会議員の岩井先生に協力と指導とをお願いしました。

岩井先生は、水沢、古川等の関係文書と越本事業部長が収集された文書を基に研究され、市の財政ともならめ合せ老人福祉治療の方式を請願する事になり、六月十三日岩井先生の御案内で、私達三人が代表で市議会議長並びに市長に請願陳情をしました。市長からは堅く手を握られ激励を受けました。

岩井先生は、隣の花泉町及び平泉町においても同様に実施が出来る様に心を配られ、九月四日に岩井先生の御案内で花泉町の議長及び町長にも請願陳情をしましたが、ここでも趣旨は心よく理解をして戴く事が出来ました。

又、翌日は平泉町に岩井先生が請願陳情を行い、ここでも深く理解をして戴き、後日、只今審議中であると町役場よりハガキを戴きました。

一関市議会では、岩井先生のお骨折りによりこの十二月五日、市議会初日の日に請願は採択され、十二月十六日には市長より請願の制度化について調査研究する旨の手紙を戴きました。

岩井先生は、来年度より実施になるようさらに努力すると話されておりますが、その為には受療側である老人代表の力も借りなければならないのではないかと思います。この制度が、水沢・一関・釜石等県内各師会で採用になれば、施設費払いへの道も遠くないのではないかと思います。各師会でも努力される事を切望するものです。

いづれにしても、言葉よりも関係資料が大変役立ちありがとうございました。

総務部報告

千葉 謙一

一. 四月七日、定期総会を開き、施設費払い又は老人福祉治療の制度化を市に要望する事を決議した。役員改選では全員留任になりました。

二. 六月十三日、一関市議会議長及び市長に老人福祉治療の請願陳情をする。

- 三. 六月二十三日、老人ホーム福光園に慰問治療を行う。
- 四. 六月二十三日、午後治療研究会を行う。
- 五. 九月四日、花泉町に老人福祉治療の請願陳情を行う。
- 六. 九月五日、平泉町に老人福祉治療の請願陳情を行う。
- 七. 九月二十九日、老人ホーム福光園及び関生園に慰問治療を行う。
- 八. 九月二十九日、午後反省会及び中間会議を行う。
- 九. 十一月十七日、北峰宅にて役員会を行う。議題は師会創立七十周年記念式等開催について。
- 十. 十二月五日、一関市議会において老人福祉治療の請願が採択される。
- 十一. 十二月十二日、平泉町議会、老人福祉治療の請願を採択する。
- 十二. 花泉町議会に於いては継続審議中。
会員の岩淵千三郎氏が、九月初旬、クモ膜下出血を起こし休会になりました。
以上、報告といたします。

釜石師会

師会長 越本 政男

釜石師会では「三療による老人福祉治療制度について」の請願を議会に提出。九月・十二月の各議会に於いて継続審査となっています。三月議会に期待して居ります。この件に就いて、六〇年九月三十日に釜石市議会総務常任委員会に呼ばれ請願の趣旨について各議員より質問されました。この日の



治療前にカラオケのサービス

質疑のあらましを述べて見ましょう。

鍼灸は保険治療が出来るのか、出来ます。療養費給付という制度がありますが、医師の同意書が無ければ出来ません。貴師会以外の会員、つまり無所属の業者はあるか、あります。この無所属の業者が貴師会に入会するという確信があるか、有りません。私共は、この業者各位に対して入会勧誘に努力して来ましたが、修業校の違いや健常と視力障害者、もろもろの思想や営業についての考え方等で、私共の趣旨に賛同して頂けないためと考えます。また、会員となるためには会費も負担しなければならない。会員になってもメリットが無いと考えているように思われます。私共は、社団法人として何か社会奉仕が出来ないか模索した結果、「三療による老人福祉治療」を行うことを見つけました。

また、某議員より、腰痛を起し市内の某整骨院に治療を乞うた処、医師の同意書なしで鍼治療を受けたという質問がありました。私は、「先生、この整骨師は鍼灸師の免許が無いと漏れ聞いています。不正な請求をして報酬を受領していると思われれます」と答えた。事実この整骨院は保険で電気鍼を行い多数の患者を治療している。



五葉寮玄関にて

○ ○

六〇年度定期総会、六月十六日午後一時より市内上中島にある、市身障センターに於いて開催。次の通り役員を選任した。

会長 越本政男、 副会長 上田博也（会計担当）、理事 佐々木至。

◎老人慰問奉仕、七月十四日、市内にある老人ホーム「五葉（ごよう）寮」を訪ね、当師会員のノド自慢によるカラオケを被露しながら治療を行った。

尚、特養ホーム「清風（せいふう）園」には、三月中に慰問する予定です。

◎六〇年三月末をもって、岩間悟郎氏、飯田直二氏、飯田ノブ氏の三名が脱会しました。

◎佐々木信良氏は、六〇年四月より休会となりました。

◎佐々木至氏夫人のキミさんは、病気が完治して復会となりました。

当師会は、八名の会員となりましたが少数精鋭という言葉もあります。団結を強くして、低迷する企業城下町の不況を克服し努力し頑張ってゆこうと決意を新たにして元気で居ります。

— 34 —

◎新日鉄釜石のラグビーは、八連覇はなりませんでしたが、七年連続日本一という偉業は更新されることはないでしょう。市民は、これを誇りとして釜石活性化に向けて模索を続けている。

宮古師会

師会長 中村 強真

今回は、おもに会員の消息をお知らせして見たいと思います。

まず、九月には塩越富雄氏が退会しました。また、野沢孝一氏は、四十年間の歩みを振り返り、明日への鋭気を養うという理由で九月に休会されました。次いで、山口泰子さんは自宅で病氣療養中、奥堂房子さんは、盛岡の病院に入院加療中により、お二人共休会されています。

このほかの会員は、皆元気に活躍中です。簡単に記しますと、菊地孝進、藤原衛、小野一茂、渡辺和昭、千代川惣五郎の各氏は山田町で、佐藤繁氏は、山田町の豊間根（とよまね）で、大上泰三氏は

磯鷄（そけい）で、大井齊氏は藤原で、畠山和久氏、野崎カツさんのお二人は鯉ヶ崎（くわがさき）で、藤田喜治郎氏は新川町で、神妙子さんは保久田で、刈屋夫妻は末広町で、それぞれ張り切って働いています。箱石竜一氏も老骨に鞭打って、若い者に負けじと頑張っているようです。

尚、宮古師会では、八月二十日に平安荘、九月六日に清寿荘へ慰問治療をいたしました。

久 慈 師 会

師会長 高橋 トク

遅蒔きながら久慈師会でも、県の御指導の許に老人の家への社会奉仕と総会を、この秋に実現することが出来ました。更に春には会員五名でスタート出来ることになりました。

皆さまの師会には、とても及びませんが、一生懸命努力いたしますので、一層の御引立てをお願い申し上げます。

春の総会にむけて、準備に追われている今日この頃でございます。

六〇年の十月七日、九日、十一日の三日間にわたり（いずれも十三時より十五時まで）会員三名で老人「いこいの家」へ赴き、五〇名のお年寄りを治療いたしました。

— 35 —

MEMO

昭和60年度国勢調査による人口数

| | |
|-----|-------------|
| 全 国 | 121,047,196 |
| 青 森 | 1,524,442 |
| 岩 手 | 1,433,606 |
| 宮 城 | 2,176,290 |
| 秋 田 | 1,254,010 |
| 山 形 | 1,261,666 |
| 福 島 | 2,080,293 |
| 東 京 | 11,828,262 |

各業団の会員数

| | |
|---------------------|---------|
| 社団法人・全日本鍼灸マッサージ師会 | 13,303名 |
| 社団法人・日本鍼灸師会 | 5,958名 |
| 社団法人・日本あん摩マッサージ指圧師会 | 3,096名 |

昭和60年11月19日現在

東北六県各師会の会員数

昭和60年11月19日現在、全鍼師会情報第40号より

| | 全鍼師会 | 日鍼会 | 日マ会 |
|-------|------|-----|-----|
| 青 森 県 | 100 | 47 | 55 |
| 岩 手 県 | 184 | 38 | 7 |
| 宮 城 県 | 323 | 77 | 19 |
| 秋 田 県 | 154 | 47 | 58 |
| 山 形 県 | 291 | 42 | 8 |
| 福 島 県 | 292 | 65 | 21 |

編 集 後 記

昭和六〇年度は、本会としては稔り多き年でした。石川理事長の厚生大臣賞受賞、東鍼連総会の開催、芹沢博士を招いての学術講習会、一関師会が「三療による老人福祉治療制度について」の請願の採択を得たこと、永年に亘り本会顧問の鈴木善幸先生が全鍼師会顧問議員団会長になられたこと、岩動道行先生に本会の顧問になって頂いた事等々、喜ばしい事が多かった。これ即ち、会員各位の御協力の賜によるものです。お陰様で会報第十八号を発行出来ました。六十一年度もどうぞよろしく御願い申し上げます。

昭和六十一年二月二十四日

編集責任者 越本 政男

社団法人・岩手県鍼灸按摩・マッサージ指圧師会

昭和六十年度会報第十八号

昭和六十一年三月十五日発行

発行人 理事長 石川 文治
〒〇二三 水沢市中町一六七
電話 (〇一九七二) 三-五七二二

編集責任者 副理事長(事業部長) 越本 政男
〒〇二六 釜石市中妻町二丁目一番二六号
電話 (〇一九三) 二三-六四三九

事務所 〒〇二〇-〇一
盛岡市箱清水一丁目三六番五号
下佐征昭方 電話 (〇一九六) 六一-六二七七

事務局 副理事長(総務部長) 下佐 征昭

印刷 青木 印刷
〒〇二六 釜石市中妻町二丁目四番二五号
電話 (〇一九三) 二三-六六八七

鍼・灸・用具専門店

.....(取扱品目).....

- 針及び針灸用具
- 消毒装置
- 電気治療器
- 温熱装置
- 治療室開業諸設備
- 物療器具

新取扱商品紹介

健康サンダル：足の疲れを取り、毎日を健康に美しく。

特長：リトルアース・ルーミーは足の科学が生んだ、健康増進サンダル。

弾力性に富んだ天然ゴムの突起群〈メディカルライン〉が足の裏から静脈、リンパ管、神経などを刺激し、足と体にさまざまな効果をもたらします。

こんな方におすすめします：足の疲れやすい方、
足の冷えやすい方、
足の運動不足ぎみの方、
足をひきしめたい方。

ルーミー（スリッパ式）内用 @2,900 円

ノンスリッパ（金具付）外用 @2,600 円

ビーチ式（ハナオ付）外用 @2,900 円

(治療院価格有ります。)

ホットベルト：水でホカホカ、ふしぎなベルト。

1回の吸水で、10～14時間保温、しかも繰り返し4～5回OK
冷え症でお困りの方に。

ホットベルト（腰用） @2,200 円

ケミックホット（腰用スペア） @1,100 円

ホットホルダー（ひじ・ひざ用） @1,800 円

ミニホット（ひじ・ひざ用スペア） @500'円

(治療院価格有ります。)

有限会社 ヤマキン

〒034 青森県十和田市大字相坂字相坂 90

電話 (0176) 23-9138

郵便振替（盛岡） 3-597 番